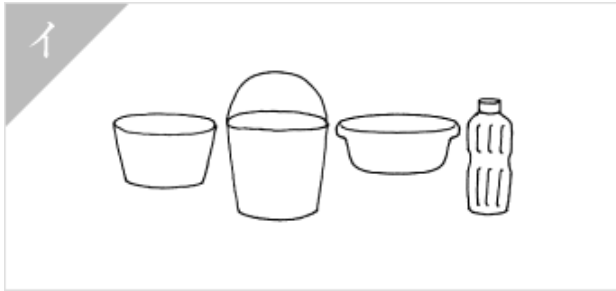


平成版打ち水のイロハ



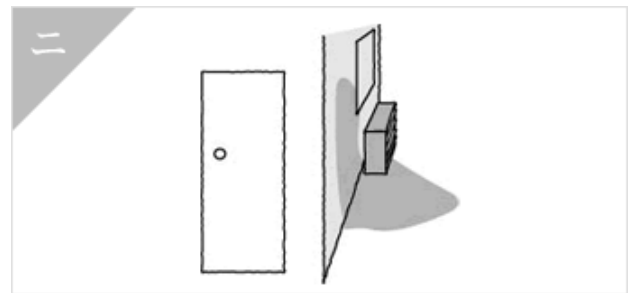
まずは水を入れる容器を用意すること。家の中のものから選ぶこと。



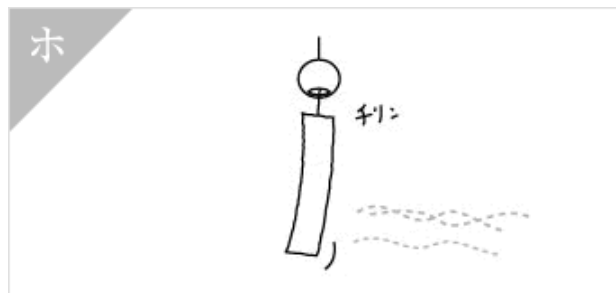
お風呂の残り湯、エアコンの室外機にたまった水、雨水など二次利用水を使うこと。



ひしゃくがなくとも、手でバシャバシャ。じょうろやペットボトルで水を打つもよし。日射に気をつけること。できれば帽子を着用。



路面だけでなく、屋上や、ベランダでも、「壁打ち」でも、室外機でも、日向でも日陰でも効果あり。



すずしい風を感じたか確認すること。気持ちよかったら、毎日つづけること。



注)その1

安全のためにクルマ通り多い場所へは水をまかないようにしましょう。できればクルマの通りのない安全な場所を選んでやりましょう。

注)その2

特にカーブの途中、交差点、マンホールの上は自転車、バイクにとっては滑りやすくなるため大変危険です！絶対に水をまかないこと。

※ドライバー、自転車のお乗りの皆さんへ

水をまいた場所へ、バイク、自転車の侵入するときはすべりやすくなっているので充分ご注意ください。